

第1会場 **高松市立十河小学校**

〒761-0433 香川県高松市十川西町3 6 6 番地 5
電話 (087) 848-0319 FAX (087) 848-0619
E-mail e-sogo@edu-tens.net

校長 亀井 伸治

PTA会長 崎山 美幸

全校児童数 609人

学級数 25クラス

本校は、南に讃岐山脈の青い山並みが見え、周囲は、大規模商業施設と豊かな田園風景が混在しており、中世城郭「十河城」などの史跡なども点在する自然と文化が豊かな地域です。本校では、研究主題を「十河の香りを育み、未来を拓き社会に出る教育」とし、自然、文化・歴史、人などの恵まれた地域の資源を生かし、資質・能力の育成を目指した社会に開かれた教育課程「十河小プラン」をつくり、児童が意欲をもち主体的に学ぶ学習を目指し、研究を行っています。また、板書、評価、自己評価などを充実させ、社会的な見方・考え方をもとに思考操作や相互交流を通して思考を深め、主体的・対話的で深い学びによる課題解決を行う等、授業の日常化に取り組んでいます。

研究主題

「十河の香り」を育み、未来を拓き社会に出る教育

～6つの資質・能力「5領域カリキュラム」の社会科・生活科の学習を「問題解決的実践学習」で深める～

ポイント

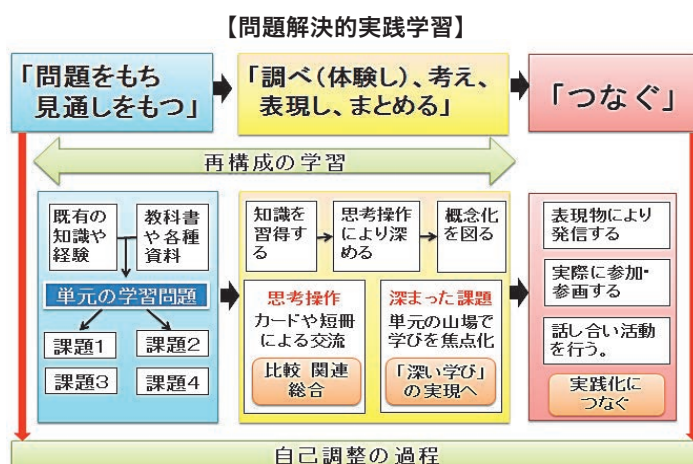
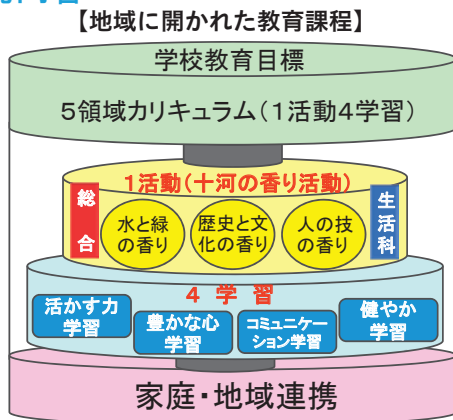
- ◇視点1：地域に開かれた教育課程の編成と実践に取り組む
- ◇視点2：アクティブ・ラーニングの視点に立つ「問題解決的実践学習」を推進する
- ◇視点3：カリキュラム・マネジメントとして「学習評価」「授業評価演習」に取り組む

◆研究の概要◆

研究の重点

本校は、学校が社会や地域とのつながりを重視し、その役割を果たすための教育課程（「社会に開かれた教育課程」）を編成している。児童が主体的に判断し、自ら問いをもって解決を目指すとともに、他者と協働し、共助・共生するなど、新しい価値を創造するという資質・能力の育成を目指して、保護者・地域とともに教育活動を実践している。

研究内容



1 地域に開かれた教育課程の編成
～6つの資質・能力を育てる5領域カリキュラム～

- ① 6つの資質・能力とは
(自立・協働・創造・探究・感性・健康)
- ② 5領域カリキュラム(1活動・4学習)とは
 - ・1活動 十河の香り活動
 - ・4学習 活かす力学習 — 国・社・算・理・生
 - 豊かな心学習 — 国・音・道・図
 - コミュニケーション学習 — 外・特
 - 健やか学習 — 体・食育・防災など

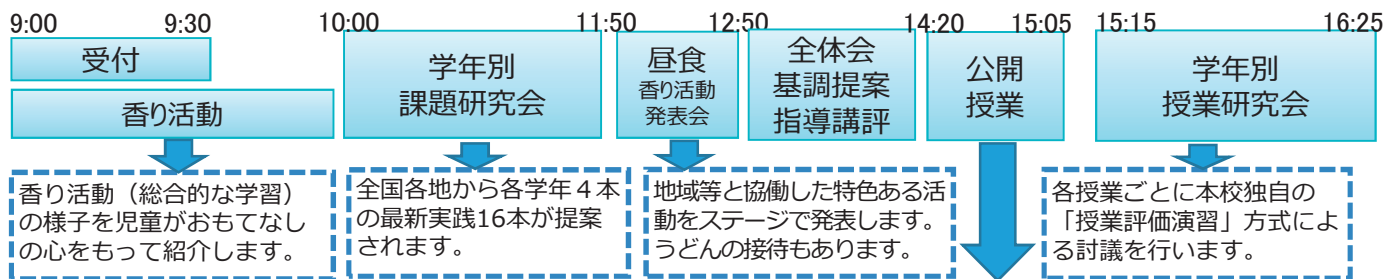
2 アクティブ・ラーニングの視点に立つ「問題解決的実践学習」の推進

- ① 「主体的・対話的で深い学び」を「問題を持ち見通しをもつ段階、調べ(体験し)考え表現しまとめる段階、つなぐ段階」の学びの過程で社会科・生活科を探究する。
- ② 対話的な学びを、学習材を活用した「思考操作」の充実で深める。
- ③ 「深まった課題」の設定により、真の問題解決的学習(なぜ、どうして、もっとくわしく等の学習)を実践する。
- ④ 社会とのかかわりを深める「つなぐ」段階で「実践学習」の充実を図る。
- ⑤ 問題解決的実践学習は、再構成の学習と自己調整の過程の2つの論から構成する。

3 カリキュラム・マネジメントとして「学習評価」「授業評価演習」に取り組む

- ① 板書とノートの研究の充実による評価を工夫する。
- ② 授業後「授業評価演習」形式の討議を行う。

◆日程◆



◆公開授業◆

■ 授業・単元 持続可能な社会に対応し未来に向けてどのように生きるかを自分自身で考えていく資質・能力を育てる単元とし、学年の最終単元として意味づける。

■ 学習過程における授業の位置



番号	学年・組		学習過程 思考操作	単元名(・小単元名)	授業者	司会者	指導助言者
A	生活科	1年3組 保育園	③ 構想	みんなの力でこんなに大きく なったよ	亀井 久美 飯野祐貴子	認定こども園 やしま幼稚園 教頭 大森 明美	高松市教育委員会事務局 教育局学校教育課 指導主事 有馬 則子
B		1年2組 2年2組	③ 構想	夢いっぱいふるさとランドをつ くろう	米澤 佳美 岩城 加奈	高松市立川島小学校 教頭 松川 紀子	香川県教育委員会事務局 義務教育課 主任指導主事 久利知光
C		2年3組	③ 類別	思いや願いをもつ、わたしたち の未来	入江 遥	高松市立木太小学校 教頭 三木 省二	高松市立屋島小学校 校長 金崎 美穂
D	3年	2組	④ 構想	住みよさとにぎやかさをづくり、 『人口』をふやそう ・市ににぎわいをつくって『人口』をふ やそう	藤澤 大地	高松市立屋島西小学校 教頭 池田 茂樹	高松市立東植田小学校 校長 大高 哲也
E		3組	② 因果	・市の歩みをふり振り返り『人口』をふやす まちづくりを進めよう	酒井 亜也子	坂出市立林田小学校 教頭 福家 寿夫	坂出市立松山小学校 校 長 白川 豊浩
F	4年	1組	③ 総合	のこし伝え、新しい『文化』をつ くってくわえよう ・郷土の瀬戸大橋の「文化」の願いを 広げて発展させよう	真鍋 長嗣	高松市立国分寺北部小学校 教頭 柏 徹哉	香川県教育委員会事務局 東部教育事務所 主任指導主事 長田在代
G		2組	③ 構成	・郷土の高松まつりの「文化」の願いを 広げて発展させよう	小島 宏子	さぬき市立津田小学校 教頭 亀井 健男	香川県教育委員会事務局 東部教育事務所 主任指導主事 谷岡直樹
H	5年	1組 2組	③ 類別	地球を守る対策『環境』協働計 画書をつくろう ・地球温暖化の対策に向けた「環境」 協働計画書をつくろう	前場 智美 森田 有奈	高松市立檀紙小学校 教頭 姫田 朋樹	高松市立一宮小学校 校長 上井 嘉
I		4組	③ 構想	・自然災害対策に向けた「環境」協働 計画書をつくろう	高尾 悠司	高松市立新番丁小学校 教頭 大石 桂司	高松市総合教育センター 研修指導員 池田 孝徳
J	6年	2組	① 類別	日本の役割を『資源』(自然・文 化・人のもつ誇り)から考えよう ・日本の役割を「資源」(人のもつ誇り ー人の技ー)から考えよう	久保 祐亮 ※2組はICT(タブ レット)を活用した 授業	高松市立浅野小学校 教頭 小原 敏昭	香川県教育センター 教育研究課 主任指導主事 三好 一生
K		3組	③ 関係	・日本の役割を「資源」(自然ー水ー) から考えよう	霧羽 美緒	高松市立花園小学校 教頭 久保 範高	高松市教育委員会事務局 教育局学校教育課 指導主事 小柳 良二
L		4組	③ 構成	・日本の役割を「資源」(文化ー文化財 ー)から考えよう	山下 悠	高松市立香南小学校 教頭 佐立 茂樹	香川大学教育学部 教授 伊藤 裕康

第2会場 かんおんじ 観音寺市立観音寺小学校

〒768-0060 香川県観音寺市観音寺町甲2 5 5 8 番地 1
電話 (0875) 57-5120 F A X (0875) 25-2338
E-mail kanonji_shou@city.kanonji.lg.jp

校長 三野 正

PTA会長 國岡 弘幹

全校児童数 562人

学級数 23クラス

本校は、平成26年4月に新設の観音寺小学校として開校しました。市の教育や行政の要所となる校区には、砂の芸術といわれる「寛永通宝」をはじめ、白砂青松の有明浜など豊かな自然にも恵まれ、商店街・農業地帯・港湾地区を有する多様な人の営みがつくり出す町となっています。

本校では、平成27年度から香川県教育委員会指定の「学力向上モデル校」として、社会科を核とした授業改善に取り組んでいます。そこでは、社会を捉える観点や自らの学びを再構成して次時へとつなぐ振り返りツールの活用など、3つの視点から実践研究を進めています。これらの取組を通して、新しい学習指導要領が求める「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」につながる学習指導の在り方を探っています。

研究主題

『今』を見つめ、『未来』を拓く社会科学習の創造

～ 主体的な追究によって社会的な見方・考え方を育てる授業づくり ～

ポイント

- ◇ 視点1： 素朴な疑問から「本質に向かう問いへ…」の過程における「具体的支援」の工夫
- ◇ 視点2： 見方・考え方を培い「対話的な学び」を創出する「3つの観点（時間・空間・人間）」の活用
- ◇ 視点3： 学んだことを「整理・再構成」し、次時へとつなぐ「振り返りツール」の開発と活用

◆研究の概要◆

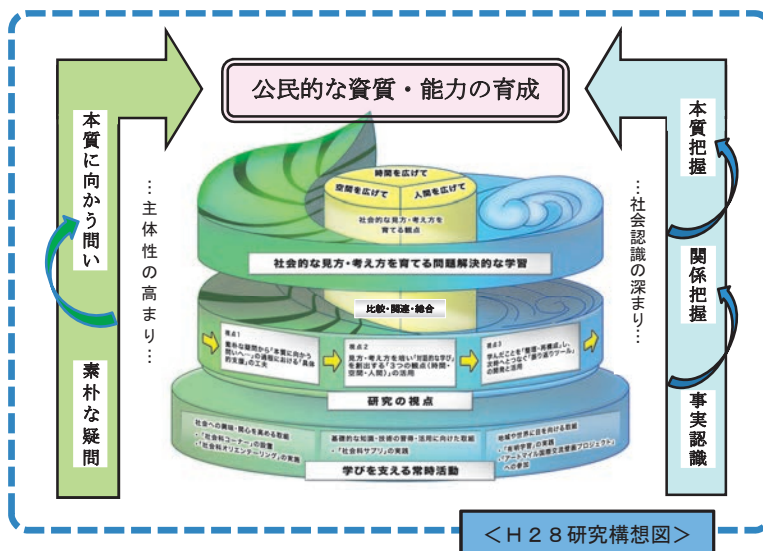
1 『今』求められる社会科学習のあり方

社会科の目標にある公民的資質の基礎を養うためには、社会的事象を生活の様々な場面で多角的に捉え、公正に判断する力を身に付けさせる必要があります。

そこで、本校では「今ある社会を的確に理解すること」「よりよい社会をめざした判断をすること」に焦点を当て「社会の一員としての見方・考え方」を成長させていくことが、よりよい未来を切り拓く第一につながると考え、本研究主題並びに副主題を設定しました。

2 本校が考える研究の視点

- (1) 視点1は、子どもたちから生まれた「素朴な疑問」を「本質に向かう問い」へと高める工夫です。教師の支援によって一人一人の課題意識を醸成し、児童が学びの主体となる学習を工夫しています。
- (2) 視点2は、課題解決的な学習の過程における「時間」「空間」「人間」の3つの観点の活用です。児童自らがこのような観点を活用し、社会的事象に問いかけて情報を集めたり、事象を多角的に捉えて思考を深めたりする学習に取り組んでいます。
- (3) 視点3は、まとめの段階における振り返りツールの活用です。1単位時間の終末には、児童が振り返りツールを用い、自分の学びを再構成したり、そこで表出した判断や疑問を次時の学びへとつないだりしています。



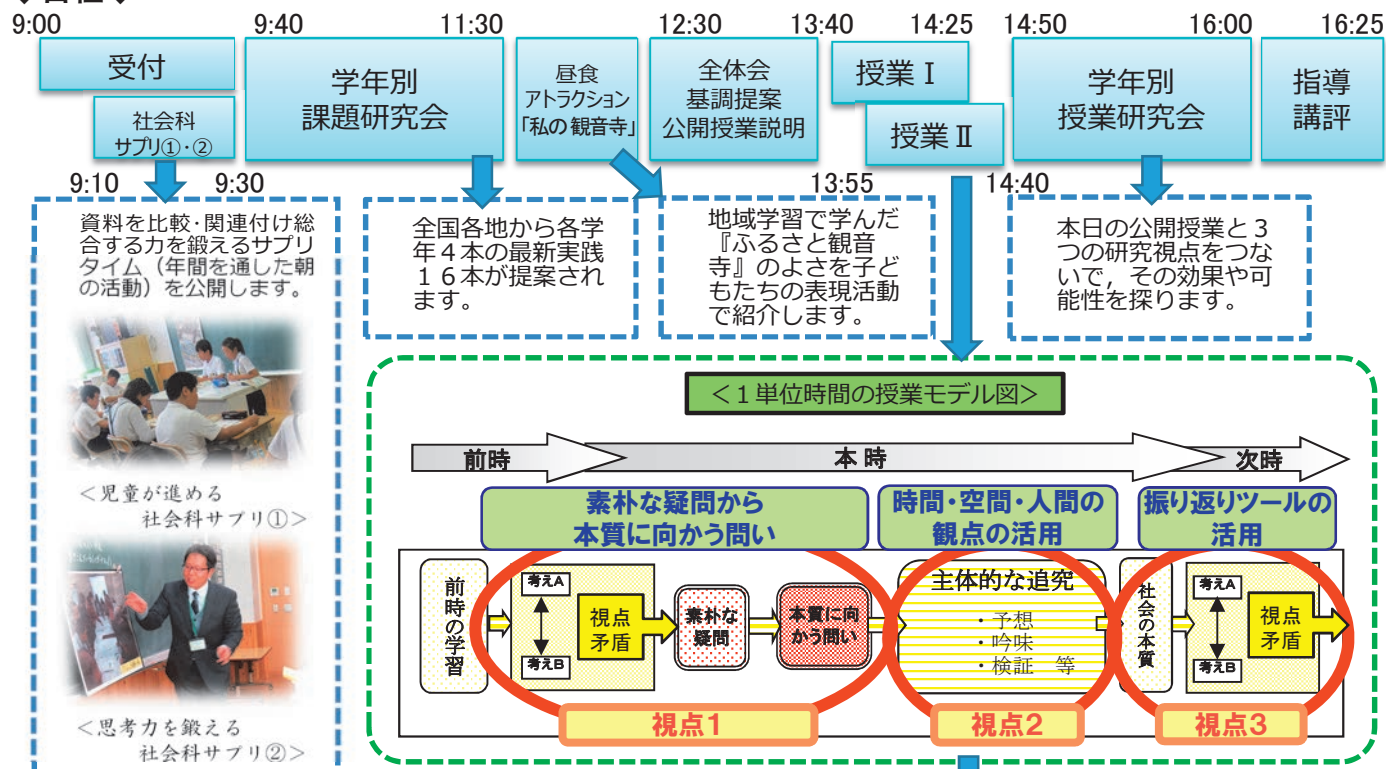
3 次期学習指導要領を見据えた授業改善

本年8月に提起された中教審教育課程企画特別部会の審議のまとめでは、社会的な見方・考え方は社会的事象を考える際の視点や方法であると示されています。この見方・考え方は、学習対象と深く関わり、問題を解決したり、自己の考えを形成したりする上で重要だと言われています。

以上のことも含め、本校では、次頁に示す1単位時間の授業モデルをもとに授業改善を図り、主体的な学びの過程で社会的な見方・考え方を育てたいと考えています。



◆日程◆



◆公開授業◆ 授業Ⅰ（13:40～14:25） 授業Ⅱ（13:55～14:40）

番号	学年	組	単元名	授業者	司会者	指導助言者
A	3年	3組	町のじまん！ 観音寺かまぼこのヒミツ	[授業Ⅰ] ◇手練りのおいしい製品づくりの工夫 白川 康太	三豊市立二ノ宮小学校 教頭 岸上 也寸志	多度津町立四箇小学校 校長 寺嶋 俊秀 香川大学教育学部 特命教授 野村 一夫
B		1組	〈工場の仕事〉	[授業Ⅱ] ◇地元ならではの味を守り続ける製品づくりの工夫 曾根 洋子		
C	4年	3組	昔のよさを未来に伝える まちづくり 琴平町	[授業Ⅰ] ◇金丸座がタイムマシン！ 文化財を生かしたまちづくり 原 健恭	三豊市立麻小学校 教頭 萬亀 弘吉	香川県教育委員会事務局 西部教育事務所 主任指導主事 林 聖士 坂出市立林田小学校 校長 川中 祥照
D		1組	〈特色ある地域と人々の暮らし〉	[授業Ⅱ] ◇まち全体がタイムマシン！ 古いものを生かしたまちづくり 香川やよい		
E	5年	3組	今こそ、南海トラフ地震に備えろ！	[授業Ⅰ] ◇震災に学び、未来につなぐ新しいまちづくり 古子 貴将	観音寺市立柞田小学校 教頭 小西 寛	善通寺市立東部小学校 校長 岩崎 保雄 綾川町立滝宮小学校 校長 有岡 俊文
F		1組	〈自然災害を防ぐ〉	[授業Ⅱ] ◇行政と市民が一体になって進める災害に強いまちづくり 近藤 弘子		
G	6年	3組	二つの東京オリンピック 〈新しい日本 平和な日本へ〉	[授業Ⅰ] ◇「国内政治」「国外政治」「国民生活」の3つの枠組みから考える単元の見通し 田中久美子	三豊市立財田小学校 教頭 安藤 通	香川県教育委員会事務局 義務教育課 主任指導主事 山内 秀則 三豊市立松崎小学校 校長 臼杵 優
H		1組		[授業Ⅱ] ◇1964東京オリンピック「アジアを通った聖火リレー」に込められた思い 出演 大資		